



CloneCD 5 メイン ウィンドウ

下図のメイン ウィンドウが CloneCD 開始時に開きます。



この時点で CloneCD の4つの主要機能を見ることができます: 4つの機能を表す各々の"絵"は"読み込み"、"書き込み"、"コピー"、"消去"という言葉以上のものを語っています。



CD をイメージに読み込む



イメージから CD に書き込む



CD から CD にコピーする



CD-RW を消去する

上記のボタンをクリックすると、それぞれの機能に関する、さらに詳細な情報が得られます。

メイン ウィンドウには 3つのメニューアイテム (ファイル、ツール、ヘルプ) が含まれています: これらのメニューから設定の変更ができますし、ヘルプ マニュアルを呼び出すことができます。

ノート: システムに読み込み/書き込みドライブが接続されていない場合、利用できない機能のボタンは無効化されます。



読み込みボタン: 入力元 CD を読み込んで、イメージファイルを作成

読み込みボタンでは、入力元 CD から読み込みを行い、イメージファイルを作成できます。後で CD-R メディアに書き込みを行う際に、このイメージファイルが必要になります。

読み込みボタンを押してみましょう。

1番目のウィンドウ

ウィンドウ左側に各ドライブ、右側にそれらドライブの性能が表示されます。読み込みドライブを選択し、右クリックしてコンテキストメニューから"排出"を選択して、読み込みたい CD をドライブに挿入してください。

重要: CloneCD にトレイを閉じさせてください。これにより、OS がアクセスする前に CloneCD がデバイスにアクセスできます。

ヒント: 1台しかドライブが接続されていない場合、トレイに読み込みたい CD を乗せ、トレイを開けたままにしてください。"次へ"をクリックすると自動的にトレイが閉じて、次のウィンドウへ進みます。

選択したドライブをダブルクリックするか、"次へ"をクリックするとトレイが閉じます。

2番目のウィンドウ

ウィンドウ右側に、ドライブが検出した、挿入された CD に関する詳細を参照できます。

ウィンドウ左側には、*CloneCD プロファイル*が表示されます。プロファイルは特定のタイプの CD に対する読み込み/書き込み設定のプリセットです: オーディオ CD とゲーム CD やデータ CD では異なる設定が必要です。プロファイルによって、読み込みたい CD に適した設定を容易に選択することができます。

プロファイルをダブルクリックするか、"次へ"をクリックすると次のウィンドウに進みます。

3番目のウィンドウ

ここで CloneCD で作成するイメージファイルの保存場所を選択できます。"参照..."をクリックすると、既存のフォルダから選択できますし、新しくフォルダを作成することもできます。CloneCD は次回イメージ作成の時まで、これを記憶しています。

ヒント: CloneCD を初めて使用する場合には、適当な名前を付けて(例:"CD イメージ")、ローカルドライブにフォルダを作成しておくといでしょう。分かりやすい名前を付けておけば、後で見つけやすく便利です。ローカルドライブの容量には限りがあるので、あまり多くのイメージファイルを置いたままにしない方がよいでしょう。

"CUE シートの作成"というオプションもあります: 有効にすると、"CUE シート"を作成できます。このファイルを使用すると、CloneCD で作成したイメージファイルを対応する他のアプリケーションで扱えるようになります。複数のセッションを含む CD のコピーに対しては"CUE シート"の作成はできません!

"OK"をクリックすると読み込み処理が開始されます。

メイン ウィンドウと *ログ ウィンドウ* で読み込みのプロセスを見ることができます。イメージの書き込みが完了すると、小さなウィンドウがポップアップし、終了の音声が再生されます。確認に OK すると、イメージファイルはローカルドライブに保存されます。

メニューアイテムの "ファイルに読み込む..."は読み込みボタンと同じ機能です。

読み込みドライブが検出されない場合は、読み込みボタンは、グレイアウトして無効化されます。



書き込みボタン: イメージファイルからメディアへコピー

書き込みボタンでは、イメージファイルを CD-R メディアに書き込みます。

書き込みボタンを押してみましょう

1番目のウィンドウ

ウィンドウ左側には、CloneCD で前回作成したイメージファイルのパスが表示されます。右側には、一致するプロパティが表示されます。現在表示されているイメージを選択するのであれば、"次へ"を、変更するのであれば、"参照"をクリックしてイメージファイルをローカルフォルダから選択して、"次へ"をクリックしてください。

"書き込み成功時に削除する"というオプションがあります。有効にすると、イメージファイルは書き込み成功時に削除されます。書き込みを中止したり、エラーが発生した場合や、書き込みシミュレーションが実行された場合には削除されません。

2番目のウィンドウ

読み込み処理の場合と同様に、ウィンドウ左側に各ドライブ、右側にそれらドライブの性能が表示されます。書き込みドライブを選択し、右クリックしてコンテキストメニューから"排出"を選択して、メディアをドライブに挿入してください。選択したドライブをダブルクリックするか、"次へ"をクリックするとトレイが閉じます。

3番目のウィンドウ

書き込み処理においても、CloneCD プロファイルが表示されます。CloneCD は読み込み処理で選択したプロファイルを記憶していて、そのプロファイルをグレイにマークして示してくれます。このプロファイルを使用したくない場合は、他のプロファイルを選択してください。

その上部では、書き込みで使用されるドライブの速度を指定できます。Max は使用するドライブがサポートする最大速度を意味します。高速な書き込みを設定する前に、あなたの PC が書き込みドライブに十分な速度でデータを転送できるかどうか、シミュレーション書き込みをして確認しておくべきでしょう。

"書き込みシミュレーション"のオプションがあります。有効にすると、CloneCD はシミュレーション書き込みを実行します。これにより、メディアを無駄にするリスクを負わずに、PC が書き込みドライブに十分な速度でデータを転送できるかどうか確認できます。書き込みシミュレーションを実行するためには、ブランクディスクを挿入しなくてはなりませんが、実際にはデータは何も書き込まれません。全てのドライブがこの機能をサポートしているわけではない事に注意してください。

全ての設定が終了したら、"OK"をクリックしてください。書き込み処理が開始されます。

メイン ウィンドウと ログ ウィンドウ で書き込みのプロセスを見ることができます。書き込みが完了すると、小さなウィンドウがポップアップし、終了の音声が再生されます。

確認に OK すると、イメージファイルは CD-R メディアに書き込まれています。

メニューアイテム の "ファイルから書き込む..."は書き込みボタンと同じ機能です。

書き込みドライブが検出されない場合は、書き込みボタンは、グレイアウトして無効化されます。